

# 平成26年度畑作関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

公益財団法人日本植物調節剤研究協会

平成26年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成26年12月3日(水)～4(木)に浅草ビューホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者62名、委託関係者68名ほか、計147名の参集を得て、除草剤48薬剤(246点)、

生育調節剤4薬剤(14点)、展着剤2薬剤(4点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成26年度畑作関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

### 除草剤

注1)アンダーラインは拡大部分 注2)判定のアンダーラインは、新たに実用化可能としたもの

u003Cp>

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	
1.AC-263 液 イマザモックスアンモニウム 塩:0.85% [BASFシャバハン]	いんげんま め(菜豆)	実・雜 実	一年生広 葉雑草	茎葉兼 土壌	いんげんま め出芽直前 ～出芽期(雑 草発生始期 ～本葉展開 期)	200～ 300mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・畦間処理での効 果、葉害の確認  ・作物に飛散しない ように散布する
			茎葉 (畦間)	いんげんま め生育期、 雑草発生揃 ～2葉期					
2.AH-01 液 グルホシネートPナトリウム 塩:11.5% [Meiji Seika ファルマ 北興化学工業]	ばれいしよ	実・雜 (従来 どおり)	一年生雑 草	茎葉	ばれいしよ植 付後萌芽前 雑草生育期 (草丈30cm以 下)	100～ 200mL <水量100 ～150L>	全土壌	全域	・葉量300～ 500mL/10aでの効 果、葉害の確認(植 付後萌芽前)  ・作物に飛散しない ように散布する ・雑草の草丈30cm 以下で散布する
			春播小麦	—					
3.AK-01 液 クワホサートイソプロピルアミ ン塩:41% [TAC普及会]	とうもろこし (飼料用)	実・雜	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉	耕起または 播種前、雑 草生育期(草 丈30cm以下)	250～ 500mL<水 量50～ 100L>	全土壌	東北以南	・耕起または播種前 における多年生イ ネ科雑草に対する効果 の確認 ・播種後出芽前にお ける多年生雑草に対 する効果の確認
			一年生雑 草		播種後出芽 前、雑草生 育期(草丈 30cm以下)				
4.ALH-0831乳 クレトジム:24% [アリスラフサイエンス]	小豆	実・雜 (従来 どおり)	一年生イ ネ科雑草(スズ ムシカゲビラを 除く)	茎葉	小豆生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	35～50mL <水量 100L>	全土壌	北海道	・葉量50mL/10a未 満は、スズムシカゲ ビラに効果が劣る。  ・イネ科雑草5～8葉期 での効果、葉害の確認
			スズムシカゲ ビラ			50～75mL <水量 100L>			
	てんさい	実・雜 (従来 どおり)	一年生イ ネ科雑草	茎葉	てんさい生育 期、イネ科雑 草3～5葉期	35～50mL <水量 100L>	全土壌	北海道	・スズムシカゲビラに効果 が劣る。  ・イネ科雑草5～8葉期 での効果、葉害の確認
			多年生イ ネ科雑草 (シバムギ、 レッドトップ)		てんさい生育 期、多年生イ ネ科雑草3～ 5葉期	50～75mL <水量 100L>			
	かのこそう	実	一年生イ ネ科雑草	茎葉	かのこそう生 育期、イネ科 雑草3～5葉 期	75mL <水量 100L>	全土壌	全域	

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
5.ANK-553(㊂) 乳 ベンデメタリン:30% [BASFジャパン]	甘草	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・キタ科、フユ科には効 果が劣る ・播種後出芽前処 理では生育抑制を 生じる場合がある。	
6.BAH-0805乳 ジメチアトP:19.7%、 ベンデメタリン:23.1% [BASFジャパン]	とうもろこし (飼料用お よび食用)	実・雑	一年生雑 草	土壌	とうもろこし播 種後～2葉 期、 イネ科雑草2 葉期まで	200～ 400mL<水 量49070～ 150L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・スズノカサビラに対す る効果について年次 変動の確認(北海道) ・水量70～150L/10a での年次変動の確 認
7.BAS-656乳 ジメチアトP:64% [BASFジャパン]	いんげんま め(菜豆)	雑								・効果、葉害の確認
8.BCH-081フロアブル ジフルフェニカシ:8.4% フルフェネソト:33.6% [バイエルクロップサイエンス]	春播小麦	実・雑	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	播種後～小 麦出芽揃 期、雑草発 生始期まで	60～80mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・葉に白斑や黄化、 褐変を生じる場合が ある。	・播種後出芽前、出 芽揃期での散布水 量70L/10aでの効 果、葉害の確認
				茎葉兼 土壌	小麦1～3葉 期、イネ科雑 草1葉期まで	60～80mL <水量 70～ 100L>				
9.DAH-1201 フロアブル プロピサトP:36% [タウケミカル日本]	てんさい (移植)	雑								・効果、葉害の確認 (定植後、中耕培土 後)
10.HCW-201フロアブル DCMU:50% [保土谷UPL、 北興化学]	さとうきび (株出し)	実・雑 (従来 どおり)	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	土壌	さとうきび前 芽前、雑草 発生前	160～ 200mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムクサキカバハミには効 果が劣る場合がある	・さとうきび前芽前、 雑草発生始期での 除草効果、葉害の確 認
				茎葉兼 土壌	さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 15cm以下)	100～ 150mL <水量 100L>				
11.HMB-0901 フロアブル フェンチアム:9% メトロン:27% [ホクサン]	てんさい (直播)	実	一年生広 葉雑草	茎葉	てんさい第2 本葉展開 後、雑草発 生揃期	400～ 600mL <水量50～ 80L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・一過性の葉の黄化 が見られることがあ る。 ・展着剤を加用する	
12.Hoe-866 液 グルホシネート:18.5% [バイエルクロップサイエンス]	なたね	実	一年生雑 草	茎葉 (畦間)	なたね生育 期、雑草生 育期(草丈 30cm以下)	300～ 500mL<水 量100L>	全土壌	全域	・作物にかからない よう散布する。	
13.HSW-062 フロアブル インダメタリン:10.1% ジフルフェニカシ:4.0% [ホクサン]	春播小麦	実・雑	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	小麦1～3葉 期、雑草発 生始期	200mL<水 量70L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・一過性の白斑を生 じる場合がある	・効果、葉害の確認 (播種後出芽前、小 麦出芽直前～揃期) ・小麦1～3葉期、葉 量100mL/10aでの除 草効果の確認
14.HSW-9104S乳 デスマチアム:2.3% フェンチアム:10% S-メトクロール:7.5% [ホクサン]	てんさい (移植)	実 (従来 どおり)	一年生雑 草	茎葉兼 土壌	てんさい定植 活着後、 雑草発生揃 期	500mL <水量50～ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	北海道	・ケチ科に効果が劣 る場合がある	
15.KUH-112 細粒F ピロキサスルホ:0.1% ベンチオカブ:6.6% リネロン:1.2% [クアイ化学工業]	大豆	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	5～6kg	全土壌(砂 土を除く)	東北以南		

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
16.MAH-1201 顆粒 水和 DCMU:80.0% [マクテシム・アガン・シヤパ ン]	さとうきび (株出し)	実・雑 実 (従来 どおり)	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100~150g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・萌芽前、雑草発生 前での年次変動の 確認
			一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 15cm以下)					
	さとうきび (春植え)	実・雑 実	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100~150g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・さとうきび生育期、 雑草発生期での多 年生広葉雑草に対 する効果の確認
			一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 15cm以下)					
	さとうきび (夏植え)	保留 (実・ 雑 実)	一年生雑 草	土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生前	100~ 150g<水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・播付後土後、雑草 発生前での年次変 動の確認 ・さとうきび生育期、 雑草発生期での効 果、葉害の確認
			一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 15cm以下)					
17.MBH-075乳 フロスホカルブ:46% リニロン:11.5% [丸和バイオケミカル]	ほれいしよ	雑								・効果、葉害の確認 (雑草発生前、雑草 発生始期)
18.MBH-135 乳 フルアセットメチル:2% [丸和バイオケミカル]	大豆	実・雑	一年生広 葉雑草	茎葉	大豆2~4葉 期、雑草生 育期(草丈 10cm以下)	30~ 50mL<100 L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・シロザ、ヒヨ科、ナス科 の優占圃場で使用 する ・キク科、カヤツグサ科 には効果劣る ・処理時に展開して いた葉に褐斑を生 じ、生育が遅れる場 合がある	・有効草種について の確認 ・葉害についての年 次変動の確認
19.NC-331水和 ハロメフロメチル:5% [日産化学工業]	飼料用とう もろこし	実・雑	一年生広 葉雑草、多 年生広葉 雑草	茎葉	とうもろこし3 ~5葉期、 広葉雑草2~ 5葉期	50~75g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	東北以南	・シロザ、ナス科、ツユク サ科には効果劣る	・一年生広葉雑草に 対する効果の確認 ・キク科に対する年次 変動の確認 ・キク科雑草等に対 する効果の確認
			イチビ	茎葉	とうもろこし3 ~5葉期、 イチビ2~5葉 期	50~100g <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		
			ショクヨウガヤツ リ		ショクヨウガヤツ 2~5葉期			東北以南		
			キクモ		とうもろこし5 葉期、 キクモ生育期	50~75g <水量 100L>		北海道		
20.NK-1101 水和 S-トラコロール:24.8% プロトリン:26.6% [日本化薬]	大豆	実・雑 実 (従来 どおり)	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	225~ 300g<水量 70~ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 (北海道)
	いんげんま め(菜豆)	実・雑 実 (従来 どおり)	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	225~ 300g<水量 70~ 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域		・年次変動の確認 (北海道)
	とうもろこし (飼料用)	雑								・効果、葉害の確認
	とうもろこし (食用)	-								(作用性)

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容			
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意		
21.NP-55乳 セトキシム:20% [日本曹達]	せんきゆう	雑								・効果、葉害の確認		
	とうき	実	一年生イネ科雑草	茎葉	とうき生育期、イネ科雑草3～6葉期	150～200mL<水量100～150L>	全土壌	全域				
	みしまさいこ	実	一年生イネ科雑草	茎葉	みしまさいこ生育期、イネ科雑草3～6葉期	150～200mL<水量100～150L>	全土壌	全域				
22.NP-65液 トブラマン:3.6% [日本曹達]	とうもろこし (飼料用)	実・雑 実 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉	とうもろこし3～5葉期、雑草3～5葉期	100～150mL<水量100～150L>	全土壌	全域		・とうもろこし6～7葉期での年次変動の確認		
					とうもろこし5～7葉期、雑草5～7葉期	150mL<水量100～150L>						
23.S-482顆粒水和 フルオキサシン:50% [住友化学]	大豆	実 (従来どおり)	一年生広葉雑草	土壌	播種後出芽前 雑草発生前	5～10g<水量100L>	全土壌 (砂土を除く)	全域				
	ばれいしよ	雑								・効果、葉害の確認		
24.SL-122顆粒水和 フルアジホップP:7% リニロン:30% [石原産業]	大豆	実・雑 草	一年生雑草	土壌	播種後出芽前、雑草発生前	300g<水量100L>	全土壌(砂土を除く)	全域		・播種後出芽前処理での効果、葉害の確認 ・薬量200～250g/10a、播種後出芽前処理での効果、葉害の確認 ・薬量300g/10a、播種後出芽前での年次変動の確認(北海道)		
					茎葉兼土壌 (畦間・採間)	大豆生育期(本薬3葉期以降)、雑草生育期(草丈15cm以下)					200～300g<水量100L>	東北以南
						大豆生育期(本薬5葉期以降)、雑草生育期(草丈15cm以下)						北海道
25.SL-236(L)乳 フルアジホップP:17.5% [石原バイオサイエンス]	大豆	実・雑 実	一年生イネ科雑草	茎葉	大豆生育期イネ科雑草3～5葉期	75～100mL<水量25～100L>	全土壌	全域	・スズノカタヒラを除く ・高温条件では高葉齢のイネ科雑草に低薬量で効果が劣る ・少量散布(25～50L)の場合は専用ノズルを使用する	・薬量200mL、水量25Lでの効果の確認(草丈30cm以下) ・薬量100～125mL、水量25Lでの年次変動の確認(草丈30cm以下)		
					大豆生育期イネ科雑草5～8葉期	100～200mL<水量25～100L>					東北以南	
					大豆生育期イネ科雑草8～10葉期(草丈30cm以下)	100～125mL<水量25～100L>						
						200mL<水量100L>						
26.SL-573 フロアアル トルピラート:10.4% [石原バイオサイエンス]	とうもろこし (飼料用および食用)	実・雑 実 (従来どおり)	一年生雑草	茎葉	とうもろこし3～5葉期、雑草生育期(草丈15cm以下)	30～50mL<水量100L>	全土壌	全域	・イネ科雑草が多い圃場では高薬量で使用する	・年次変動の確認(北海道) ・とうもろこし6～8葉期処理での効果、葉害の確認		
27.SL-574 フロアアル 既知化合物A:3.1% 既知化合物B:3.1% [石原バイオサイエンス]	とうもろこし (飼料用)	雑								・とうもろこし3～5葉期での効果、葉害の確認 ・多年生イネ科雑草に対する効果の確認		

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
28.SL-1201フロアブル トプロロン:42.1% [石原ハイサイエンス]	大豆	実	一年生広 葉雑草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300～ 400mL<水 量100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		
	小豆	実	一年生広 葉雑草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300～ 400mL<水 量100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		
	いんげんま め(菜豆)	実	一年生広 葉雑草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300～ 400mL<水 量100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域		
	ばれいしょ	実	一年生広 葉雑草	土壌	植付後萌芽 前～始期、 雑草発生前 ～始期	300～ 400mL<水 量100L>	全土壌 (砂土を除 く)	全域	・萌芽始期の処理で は一過性の黄斑、 葉脈間の黄化、葉 縁部の黒変等の症 状を生じる場合がある	
29.SYJ-100 乳 プロソルホカブ:78.4% [シンジエンタジャパン]	大麦	雑								・効果、葉害の確認
30.UPH-002 フロアブル ファンデイラム 16% [保土谷UPL]	てんさい (移植)	実 (従来 どおり)	一年生広 葉雑草	茎葉	てんさい定植 活着後、 雑草発生揃 期 中耕後、 雑草発生揃 期	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌	全域	・低葉量では効果が 劣る場合がある	
	てんさい (直播)	実(従 来ど おり)	一年生広 葉雑草	茎葉	てんさい2葉 期以降、 雑草発生揃 期	400～ 600mL <水量 100L>	全土壌	全域	・低葉量では効果が 劣る場合がある	
31.ZH-1303(H) フロアブル ZH-1402 (新規化合物A):4% ZH-1403 (新規化合物B):18% [全国農業協同組合 連合会]	とうもろこし (飼料用)	雑								・効果、葉害の確認
32.ZH-1401 顆粒水和 ZH-1402 (新規化合物A):15% 既知化合物B:45% [全国農業協同組合 連合会]	大豆	雑								・効果、葉害の確認
35.ZK-122液 グリホサートカリウム塩 44.7% [シンジエンタジャパン]	大豆	実・雑	コキヤガラ	茎葉	耕起または 播種7日以前 雑草生育期 (草丈30cm以下)	250～ 500mL <水量25～ 50L>	全土壌	東北以南	・専用ノズルを使用す る	・問題雑草への効果 の確認(雑草茎葉塗 布処理) ・塗布処理(着葉期以 前)での年次変動の 確認
			一年生雑 草		250～ 500mL <水量25～ 100L>					
					播種後出芽 前 雑草生 育期(草丈 30cm以下)	250～ 500mL <水量25～ 100L>				
				茎葉 (畦間)	大豆生育期、 雑草生育期	250～ 500mL <水量25～ 50L>				

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
35.ZK-122液 つづき	大豆	実・雑	一年生広 葉雑草	茎葉 (雑草 塗布)	大豆播種期 以降生育期、 雑草生育期	2倍希釈液 (0.1mLを1 〜3ヶ所/ 株)	全土壌	東北以南	・専用塗布処理器を 使用する ・作物に付着しない ように塗布する ・分枝の多い雑草に は2ヶ所以上塗布す る	
36.トリフルリン 乳 トリフルリン:44.5% [ダウ・ケミカル 日本]	大豆	実・雑	一年生雑 草	土壌湿 租	播種前、雑 草発生前	200〜 300mL <水量 100L>	全土壌 (砂土を除 く)	東北以南	・ツクサ科、カヤツクサ 科、キク科、アブラナ科、 ナス科には効果が劣 る ・土壌湿和処理は散 布後速やかに混和 し、深度は5〜10cm を目安とする	・中耕培土後の、畦 間・株間処理での効 果、葉害の確認 ・播種後出芽前処理 について北海道での 年次変動の確認 ・土壌湿和処理での 効果、葉害の確認
				土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前					
				土壌 (畦間)	中耕培土後 雑草発生前					
	おうごん	実	一年生雑 草	土壌	定植後、雑 草発生前	200〜 300mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ツクサ科、カヤツクサ 科、キク科、アブラナ科、 ナス科には効果が劣 る ・広葉雑草が多い圃 場では高薬量で使 用する ・一時的に生育が抑 制される場合がある	
	まおう	実	一年生雑 草	土壌	播種後出芽 前、雑草発 生前	300mL<水 量100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ツクサ科、カヤツクサ 科、キク科、アブラナ科、 ナス科には効果が劣 る ・一時的に生育が抑 制される場合がある	
37.フェンメテ'イファム 乳 フェンメテ'イファム:14.7% [ホクサン]	てんさい (直播)	実・雑 (従来ど おり)	一年生広 葉雑草	茎葉	中耕除草 後、雑草発 生前	500〜 600mL<水 量50〜 80L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・前処理後発生した 雑草を対象とする。	・子葉展開期〜本葉 抽出期、雑草発生臨 界期での効果、葉害の 確認

除草剤(平成25年度)

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準						継続の内容	
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域		使用上の注意
1.ALH-0831乳 アルトシム 24% [アリスケライフサイエンス]	ばれいしよ	実・雑 実	一年生仔 科雑草	茎葉	ばれいしよ生 育期、仔科 雑草3〜6葉 期	50〜75mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・低薬量ではスズメ カビラに効果が劣る 場合がある	・効果、葉害の年次 変動の確認 (東北以南)
3.HCW-201フロアブル DCMU 50% [保土谷UPL、 北興化学]	さとうきび (夏植え)	実・雑 ※	一年生雑 草、多年生 広葉雑草	茎葉兼 土壌	さとうきび萌 芽前、雑草 発生始期	100〜 150mL <水量 100L>	全土壌(砂 土を除く)	全域	・ムラサキカバハミには効 果が劣る場合がある	・多年生広葉雑草に 対する効果について 年次変動の確認(さ とうきび生育期) ・さとうきび萌芽前、 雑草発生始期での 効果、葉害の確認
					さとうきび生 育期、雑草生 育期(草丈 15cm以下)					
6.SB-920 乳 d-リモネン 70% [エス・デー・イー・エス・バィ テック]	大豆	雑								・効果、葉害の確認

## 生育調節剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.NGR-1201 乳 ビラフルフェンエチル:0.8%  [日本農薬]	ばれいしよ	寒	茎葉枯凋 促進効果	茎葉	開花始30日 後以降(茎葉 繁茂期) (2回処理)	500mL→ 250~ 500mL<水 量100L>	全土壌	北海道		
					茎葉黄変期	250~ 500mL<水 量100L>				
2.ジ'ヘルリン 水溶 ジ'ヘルリン 3.1%  [協和発酵バイオ、住友 化学、Meiji Seika ファ ルマ]	ばれいしよ	継								効果、葉害の確認

## 生育調節剤(平成25年度)

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	使用規準							継続の内容
			対象作物 使用目的	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.AF-1くん蒸 1-メチルシクロプロペン 3.3%  [ローム・アント・ハースシヤ バン]	ばれいしよ	寒	ばれいしよ 貯蔵中の 糖化抑制	密閉容 器内く ん蒸(24 時間暴 露)	収穫後貯蔵 時	1000ppb				

## 展着剤

薬剤名 有効成分及び 含有率(%)	作物名	判定	試験された使用法							継続の内容
			対象雑草	処理法	処理時期	使用量 (/10a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意	
1.HOK-001 展着剤 ポリオキシエチレントデシル エーテル:78.0%  [北興化学工業]	てんさい (移植)	-								
2.サーファクタントWK 展 着剤 ポリオキシエチレントデシル エーテル:78.0%  [石原産業、石原バイオ サイエンス]	てんさい (移植)	-								